

令和6年度 みずほ保育園 事業計画

主テーマ『地域から必要とされ 園児・保護者が笑顔あふれる園であるように』

今年度 みずほ保育園では「地域から必要とされ 園児・保護者が笑顔あふれる園であるように」という主テーマのもと、保育を実施し、保育内容の充実を図ると共に、子どもの健康や安全の確保を保ち、またそれを支える保護者の気持ちにも寄り添い、保護者の養育力の向上につながる保育園の特性を活かした支援を実施していきたいと思ひます。また宮津市において2か年の計画の下、子ども国際臨床保育研究所の勝山先結夢先生による「施設環境」について指導を受ける予定です。こうした観点からも子どもが安心して過ごせる保育環境の構築を目指したいと思ひます。

【施設運営】

① 安定した運営

少子化が進行するなかで多くの運営費収入が見込めない状況において人権費以外の支出の内容を見直し、施設運営を行っていききたいと思ひます。但し中・長期的な視点に立ち、求められる保育ニーズに基づいた保育を行い、地域に選ばれる保育園となるよう研鑽を積み、安定した保育所運営を行っていききたいと思ひます。

【人材育成】

「保育所保育指針」「就学前施設満足度調査」を通して保護者から求められる保育園の在り方、職員スキルなどの理解を深め、保育に寄せる様々な人の思いや願ひに支えられながら、子どもの幸せに寄与する事ができるよう園内で研鑽を深めます。地域保育関係者を対象とした「公開保育」も実施する予定です。

【保育内容】

① 子どもが自主的に遊びを展開できるように

子どもの自主性を尊重し、子ども自身が遊びの内容を考え、工夫し、展開していける環境を整えていき、主体性を育てていききたいと思ひます。その際、「卒園までに身につけておきたい10の姿」も意識した指導計画の下、実施したいと考えております。遊びの中に芽生えている学びをきちんと見取り、可視化し、記録として共有したり、発信したりできるよう、「遊びの質」を高めたいと思ひます。

② 行事の在り方について

「行事在りき」の保育ではなく、『行事を通した体験や学びは子どもの育ちを支える重要な役割を担っている』との見地に立ち、行事を計画・実施し、子どもの育ちを分かりやすく伝える一手段として行事を実施していききたいと思ひます。また保護者参加行事も保護者の方が参加しやすい形式・実施時期を検討し、より大勢の方に子ども達の大きくなった姿を見に来ていただく機会を設けたいと思ひます。

【保護者の意見の収集】

保護者からの率直な意見は、改めて保育の原点、保育の在り方、問題の所在、原因などについて職員全体で話合うよい機会となります。また こうした意見や、直接苦情といった形にならない保護者からの意見、相談等を含めて、職員会議や園内研修の中で「職員のあるべき姿」について伝えていき、「保護者と共に考える」という観点に立って問題をとらえ解決に臨みたいと思ひます。

【宮津学院の活動】

昨年度も小学校の訪問、読み聞かせ、合同挨拶運動などを通して他園・他校の方との触れ合いを行う事ができました。子ども達には他園・他校の方と触れ合う絶好の機会であり、また就学前の子ども達には「進学する事への意識づけ、憧れの気持ち」に繋がっています

また保護者には学院が発行する「きらりニュース」を通して宮津学院の理念、取り組み、他園他校の活動等の周知を図る事ができ、より「宮津学院」の活動に対して興味関心をもっていただく事ができました。

本年度も これまで通り保幼小中の連携を密にし、交互交流・相互理解を深め、学院教育目標である「ふるさと宮津を愛し、心身共に健康で「生きる力」を身につけた幼児・児童・生徒の育成」が行えるよう「宮津学院」の活動に参加・寄与していききたいと思ひます。